

5
May

{ 5月に予定されているセンターのイベント情報や、
その他のお知らせについてご案内します。 }

漫湖水鳥・湿地センター開館10周年イベント 写真展「漫湖の野鳥」

漫湖で身近に観察できる野鳥を中心に約50種の野鳥写真を展示予定。

- 期間：2013年5月3日(金)～5月19日(日)
- 場所：漫湖水鳥・湿地センター1F 企画展示コーナー

「おりがみアクションー巨大折り紙でクロツラヘラサギを折ろうー」

漫湖水鳥・湿地センター開館10周年を記念して、漫湖こどもエコクラブのこどもたちと一緒に、巨大折り紙でクロツラヘラサギを折ります。その他にもCOP10のロゴで使用された折り紙の生きものも折って、未来の地球にメッセージを贈ります。期間中は、一般来館者からのメッセージも受け付けております。みんなの想いをつないで未来の地球を守ろう!!

- 日 時：2013年5月19日(日) 10:00～16:00 ※雨天中止
- 場 所：漫湖水鳥・湿地センター前広場

ー 関連企画 ー

「おりがみアクションー2020年の地球・自分・漫湖にメッセージをかこうー」

- 日 時：2013年5月2日(金)～5月19日(日)
- 場 所：漫湖水鳥・湿地センター特設コーナー

親子自然講座「ハトのミルク」

ハトはミルクで子育てするってホント!?漫湖で観察できる身近な鳥を中心に、鳥の意外な子育て事情について楽しく学びます。鳥の子育てにはオモシロいヒミツがたくさん詰まっている!!

- 日 時：2013年5月12日(日)※母の日 10:00～12:00
- 場 所：漫湖水鳥・湿地センター 研修室
- 定 員：20名 ■ 対 象：幼児～小学生までの親子
- 参加費：無料 ■ 持ち物：筆記用具、飲み物

[お問い合わせ・お申し込み]漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

Topic :

{ いきものファインダー
漫湖の風景ー 18 }



前から見ると…、

昨年、英米豪の研究チームが「地球から約12光年先に地球によく似た惑星を発見した。」と発表し話題となった。はたしてそこに地球外生命体は存在するのだろうか？まあ宇宙人がいるかいないかはさておき、昔から私たちの頭の中には宇宙人像というものが勝手に刷り込まれている。「ワレワレ・ハ・ウチュウジン・ダ」というセリフで浮かぶのは、頭と目が異様に大きく体は小さい、あるいはタコとクラゲが合体したようなアノ姿である。と、前置きしたらどうだろうか、上の写真と印象が重ならないだろうか？これは、アオモンイトンボを正面から撮影したものである。トンボと面と向かって対峙するというのはじめての経験に、私の知っているはずのトンボの形態は、いったん頭の中で未知化され、その新鮮さと驚きにハッとさせられたのである。既知の生物もまた、視点が変わるだけでたちまち未知なる生物なのである。

今月はイベントが盛りだくさん。
3月に行われたイベントを、
一挙にご報告します。

ものづくり

「鳥のブローチ、つくって、贈ろう」

○3月17日(日)10:00-12:30

○講師:鈴木隆さん(日本バードカービング協会)

○参加者:大人-6名 こども-11名 計-17名

ブローチづくりということもあって、女の子や
お母さん方の参加が目立ちました。参加者
の中には、オリジナルの鳥を作っていた方も。ど
れも世界に一つだけの鳥になりました。

三菱電機九州支店共催企画

「子ども科学教室」

○3月9日(土)13:00-15:30

○共催:三菱電機九州支店

○参加者:大人-19名 こども-16名 計-35名



慎重にアカヒゲの色塗りをしていく女の子

野鳥観察会

「もすぐ春休み、みんなで野鳥観察会」

○3月20日(水)10:00-12:30

○講師:金城道男さん(沖縄フィールドワーク)

○参加者:大人-10名 こども-6名 計-16名

今回の観察会では全部で19種の野鳥が
観察できました。中には2月に放鳥した「J16」
の姿も。木道ではマングロープについての説明
もあり、充実した観察会となりました。



マングロープについて説明を受ける参加者

自然観察会

「春の野あそび花あそび」

○3月24日(日)10:00-12:30

○講師:戸倉渉(漫湖水鳥・湿地センター職員)

○参加者:大人-10名 こども-13名 計-22名

この日はあいにくの雨天で、予定していた野
外での活動を止め、室内での活動となりました。
それでも参加した子どもたちは楽しそうにネ
イチャーゲームや押し花づくりをしていました。



色んな葉をグループ分けするこどもたち

■ 2013.3/1 — 2013.3/30

{ 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 38種 }

漫湖寄鳥見鳥

漫湖で確認された鳥類一覧

3/6



ギンムクドリの身支度。

今年もギンムクドリが漫湖で越冬
した。もう3月になったが、まだセンタ
ー周辺で姿を観察することができる。
漫湖で観察できるムクドリ類はギンム
クドリをはじめ、ムクドリ、ホシムクドリ、
カラムクドリといったところだろうか。そ
のムクドリたちがねぐらに利用している
場所が木道の先に茂るマングロープ
林だ。夕方ともなると何処からともなく
ムクドリが集まってくる。翌朝、今度は
みんな揃ってセンター前のデイゴに移
動し、その後それぞれ思い思いの
場所に散っていく。この写真は、朝、
身支度中のギンムクドリの一コマ。

1, ダイサギ	26, ヒヨドリ
2, チウサギ	27, インヒヨドリ
3, コサギ	28, シロハラ
4, アオサギ	29, ウグイス
5, クロツラヘラサギ	30, セッカ
6, ミサゴ	31, シジウカ
7, サシバ	32, メジロ
8, コチドリ	33, スズメ
9, ムナグロ	34, ギンムクドリ
10, ダイゼン	35, ムクドリ
11, アカアシシギ	36, ドバト
12, アオアシシギ	37, シマキンバラ
13, キアシシギ	38, ムシクイ SP
14, イソシギ	39,
15, ダイシャクシギ	40,
16, ホウロクシギ	41,
17, チウシャクシギ	42,
18, タシギ	43,
19, ズグロカモメ	44,
20, キジバト	45,
21, カワセミ	46,
22, リュウキュウツバメ	47,
23, キセキレイ	48,
24, ハクセキレイ	49,
25, シロガシラ	50,

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区
の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基に
まとめたものです。